

# 広報まさきから

## 広報まさき300号によせて



加藤理佳さん  
(中川原)

10年前に結婚して松前町に来た私にとって、「広報まさき」は生活の情報源として、とても助かりました。

松前町に友人もなく、出産後不安なこともありましたが、保健センターでの健診や乳幼児の健康相談のおかげで友人や保健婦さんに相談ができ、現在は行政内容や各公民館活動、いろいろな催し物のお知らせを見て、生活に役立っています。

今月号で「広報まさき」も300号を迎えるというところで、私が生まれる前から町民の住みよい町づくりのために頑張って発行しているんだと、改めて感じました。



武智利秋さん  
(徳丸)

「広報まさき」の創刊300号、37年間にわたる発行、おめでとうございます。

今や「広報まさき」は、一日一日一歩一歩地道な生活をしている私たちにとって、かけがえのない情報紙であります。

私たちの身近な問題を時宜に遍し簡潔に、ポイントを絞って伝えてくれる「広報まさき」。

新たに知った嬉しさで心が豊かになってまいります。

今月の表紙写真は何かな、毎月の素敵な実像写真に胸をわくわくさせて待っております。

今後とも「広報まさき」は町行政の広聴に、町民の連帯感の醸成に、ひいては町発展の一つの柱として活気に溢れた発行をお願いいたします。

## 「広報まさき」が じまもまじままで

皆さんは現在の「広報まさき」がどのようにつくられているかご存知でしょうか。ここで、「広報まさき」ができるまでの過程をご紹介します。

### ① まずは、原稿集め！

年間通して、町や地域のイベントの取材を行っています。

### ② 原稿の締切は、前々月の末日

例えば、11月号の原稿は、9月末が締切になります。



### ③ 文章や写真の位置、カットの割付(レイアウト)などを指定

集まった原稿に目を通して、紙面のどこにレイアウトしていくか。広報のペーシ組を決めていきます。

### ④ 業者に原稿を入稿

グラ刷り(たみし刷り)が業者から帰るまで3〜4日。



レイアウトには  
ひと苦労

### ⑤ 各担当課及び広報係による校正